

2016 年度春学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	教職に関する 科 目
-----------	------------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

評点平均値の科目区分間比較では、授業に対する学生の反応と行動に関する項目では、「授業理解度」(4.42)、「意欲」(4.40)、「知的好奇心」(4.37)において全学平均値よりもかなり高い数値であることが目立っている。教職課程というコースの特性から十分に理解できる結果であるが、その割には「授業外学習時間」(0.61h/w)が全学平均値を若干下回るのは意外である。教職に関する科目を履修する目的意識の強さからすれば、この数値を向上させる余地はあるのではないかな。

教員の授業方法と行動に関する項目では、「授業の工夫」(4.35)「話し方」(4.53)「シラバスとの合致」(4.45)「集中できる雰囲気」(4.49)の全てにおいて、全科目区分中最高位またはそれに近い結果であり、「教職に関する科目」にふさわしい。

DWCLA10 の科目区分選択率では、「プレゼンテーション力」(25.4%)、「コミュニケーション力」(35.0%)、「リーダーシップ」(11.7%)、「思いやる力」(23.3%)などで高い数値となっており、教員養成の目的に叶う授業が展開されていることが伺える。また「自己実現力」(17.1%)も非常に高い数値であり、教職に関する科目において学生が、単に教員に求められる知識や技能を獲得するだけでなく、将来のビジョンの実現に向けた手応えを実感していることが推察される。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター